



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を



ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>

ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

青年春闘交流集会開催!!

青年が生きやすい職場・地域・社会をつくる
～ふやさう仲間と賃金・なくそうハラスメント～

全労連青年部は2月23～24日に都内で全労連青年部青年春闘交流集会を開催しました。7単産、19地方組織から64人の青年が参加し、2日間にわたって学習し交流しました。全労連青年部が春闘期に泊りがけの学習会を開催するのは初めて。各組織の春闘の取り組みを持ち寄り、議論と交流をしながら、職場と地域での悩みを出し合い、要求実現と仲間増やしのアイデアを交流することで元気の出る集会となりました。

＼春闘へ向け、青年の要求実現のためガンバロー!!!／



「仲間と一緒に Let's Try 春闘」



黒澤事務局次長の講演に耳を傾ける青年たち



要求をみんなで発表

全体会では、全労連の黒澤幸一事務局次長が講演。春闘の基本から仲間づくりの経験などを語り、非常にわかりやすく好評でした。職場の3大要求を出し合って絵に描き発表し、「組合活動は目標ではなくビジョンを語って仲間を増やそう」という黒澤事務局次長の呼びかけに、多くの参加者が共感していました。

講演後は日本医労連から「模擬団交の取り組み」、自治労連から「組織拡大」、愛媛労連から「最賃の運動」、JMITU から「春闘期の取り組み」、建交労から「青年春闘の取り組み」を報告。各組織の春闘期の取り組みを交流しました。



要求が実現したら...

分散会・分科会で深める

全体会に続く分散会では、職場の実態や活動について少人数で交流。2日目の分科会では①仲間づくり②賃金③憲法をいかした働きやすい職場づくりの3つの分科会にわかれて、学習や報告をうけて討論しました。

仲間づくりの分科会では、各組織の新歓の経験を交流し「自分も一歩踏み出したい」という声も。

賃金の分科会では、愛知の最賃引き上げに向けた取り組みなどから最賃引き上げに向けた決意を固めあいました。

憲法をいかした働きやすい職場づくり分科会では、全労連の布施恵輔事務局次長が世界の労働事情についてミニ講演。職場で運動を進める上での悩みも出され、単産や地域の違いを超えて青年同士が励まし合う姿もみられました。



新歓について考える



世界の労働について学ぶ

一歩踏み出す春闘を

初の泊まりがけの青年春闘交流集会について、参加者から「多様な業種の青年と議論できた。共通した課題が多く、何か一つでも行動にうつしていきたい」との声が出され、春闘に向けた一歩踏み出す決意を固めあう青年春闘交流集会となりました。

* 参加者の感想 *



* 「春闘のたたかい方としてビジョンを持つこと、より多くの人に耳を傾けることが必要だというのは新しい発見でした」(大阪医労連・男性)

* 「他職種の組合活動の報告は苦労も喜びも多様で面白く、とても励まされました」(全教・女性)

* 「自分の中で、改めて組合の大切さについて認識を深める機会になりました」(熊本県労連・男性)

* 「組織化とは相手の要求を聞いてあげること。目標ではなく『ビジョン』ということが本当に心に残った」(愛媛労連・男性)

* 「全国で頑張っている青年部があることは、とても励みになります。新人職員、オリエンテーションの工夫もPPTを用いて全員加入できるよう頑張りたい」(福井民医労・女性)

* 「青年層の悩みが共通していることがわかりました。悩みを共有して話し合うことが大切」(JMITU・男性)

* 「模擬団交や最賃引き上げの取り組みなど将来的にしてみたい」(岡山医労連・男性)

* 「分科会に参加して、日本はまだまだ労働環境に問題点が多いと感じました。そんな中、JMITU 全国青年部が組合活動により労働環境・労働条件の向上を勝ち取ってきたことはすごいと感じました」(福岡エフコープ・男性)

* 「参加した仲間と相談にのってもらい、これからの自分の組合活動のビジョンが少し見えてきました。みんなが活動を真剣に考えているという空気に触れられてよかった！」(福岡自治労連・女性)

* 「公務職場では活動しづらいこともありますが、できることを考えて民間と一緒に活動していきたいと思いました。帰ってから、小さくても何か1つ行動にうつしたいと思います」(自治労連・女性)

* 「北海道の青年の活発な活動をうらやましく思う一方、神奈川でも青年の要求と行動を高め社会を動かす一つの力となれるよう頑張っていこうと決意を新たにしました。今、改めて青年の力が求められています」(神奈川労連・男性)

